

福島県医師会長挨拶



令和2年6月7日に開催されました第151回福島県医師会定例代議員会において、福島県医師会長に再選されました佐藤武寿（さとうたけひさ）です。

今般の新型コロナウイルス感染症の流行の長期化に伴い、県民の皆様には不安やストレスを抱えておられることと存じます。新型コロナウイルス感染症は、国内においては爆発的な感染拡大は抑えられている状況にありますが、日本各地で感染経路が特定できない感染事例が報告されるなど予断を許さない状況が続いております。

この間、医療現場の第一線において、多くの医療機関が医療資材不足に悩まされている中、院内感染への不安や恐怖を感じながら職務に当たられ、県民の命と健康を守るため献身的にご協力されてこられました医療機関従事者の皆様に心より敬意を表します。そして、県民の皆様には、医療機関従事者に対する温かい励ましのエールをお寄せいただき感謝申し上げます。

また、現在、新型コロナウイルスへの不安から差別や偏見が生じております。改めて冷静な判断のもと、こうした問題を生じさせることなく、県民が一丸となってこの難局を乗り越えてまいりたいと考えております。

○新しい生活様式の実践を定着させましょう。

○「運動習慣を持つ」「バランスのよい食事をとる」「質の良い睡眠をとる」など健康管理に努めましょう。

○受診控えによる健康悪化が懸念されます。受診控えをしないで、「かかりつけ医」に診てもらいましょう。

○重い感染症になる危険性が高まる前の予防接種及び病気の早期発見・早期治療のため健診を受けましょう。

○喫煙者は新型コロナウイルス感染症にかかると、非喫煙者に比べて重症化しやすいとされています。新型コロナウイルス感染症の重症化防止のためにも禁煙の推進や受動喫煙防止に取り組みましょう。

「地域医療構想」に関しましては、今般の新型コロナウイルス感染症や頻発する大規模自然災害などを踏まえ、これまで検討してきた必要とされる医療体制の在り方について改めて議論を深めてまいりたいと考えております。

また、地域包括ケアシステムの実現に向け、各地域の在宅医療・介護連携支援センターに対する支援やかかりつけ医の推進などに取り組むとともに県民の健康と医療を担う職能団体として、医師会の役割がますます重要となってきたことから会員加入促進を積極的に進め医師会の組織強化を図りたいと考えております。

県医師会といたしましては、県行政や県立医科大学、関係団体等と一体となって引き続き、県民の皆様の健康保持・増進や地域医療の充実のため、活動してまいりますので、よろしく願いいたします。

令和2年6月7日

一般社団法人 福島県医師会
会長 佐藤 武寿